

セッション名：公開講座（薬剤師・MR対象）

セッションタイトル：薬剤師として知っておきたい抗不整脈薬・抗凝固薬の基礎知識

座長：新 博次（日本医科大学多摩永山病院 循環器内科）

上野 和行（新潟薬科大学薬学部 薬物動態学研究室）

不整脈診療においては、抗不整脈薬を効果的かつ安全に使用するにはどのような注意が必要であるかにつき正しく認識することが求められる。抗不整脈薬は過剰投与により心停止を招来しうる薬剤であり、効果的に使用できなければ使用する意義がないとも言える。また、多くは陰性変力作用を有し、あるいは心外副作用の問題もあり、必要最小限に使用する努力も求められる。これまでに、実際の治療に際し適宜、薬物血中濃度の測定を行い、適切な用量であるかなどの情報を得ることも可能な環境が整備されてきた。血中濃度測定の意義はどこにあるのか、測定値が意味するものは何かなどにつき理解することも重要となる。次に取り上げるのは、心房細動の管理に重要な役割を果たしている抗凝固薬の話題である。新規経口抗凝固薬の登場により、それぞれの症例に、より適した薬剤の選択が可能となった。しかし、はたして本当に利便性が向上し QOL 改善が見込まれるのであろうか。やはり適材適所の選択による安全管理が必要なのではないか。これらの話題につき、日本を代表するオピニオンリーダーを招きお話しを頂きます。是非、ご参加頂ければ幸いです。